

地球温暖化対策計画書

平成25年 7月 11日

（提出先）
横浜市長

住所 東京都港区芝3丁目2番8号
氏名 オリックス自動車株式会社
代表取締役 亀井 克信
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 (代表者の氏名)	オリックス自動車株式会社 代表取締役 亀井 克信				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都港区芝3丁目2番8号				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	70 物品賃貸業			
該 当 す る 事 業 者 の 要 件	☐	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	☐	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	☒	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	☐	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量		k l	自 動 車 の 台 数	838 台

2 計画期間

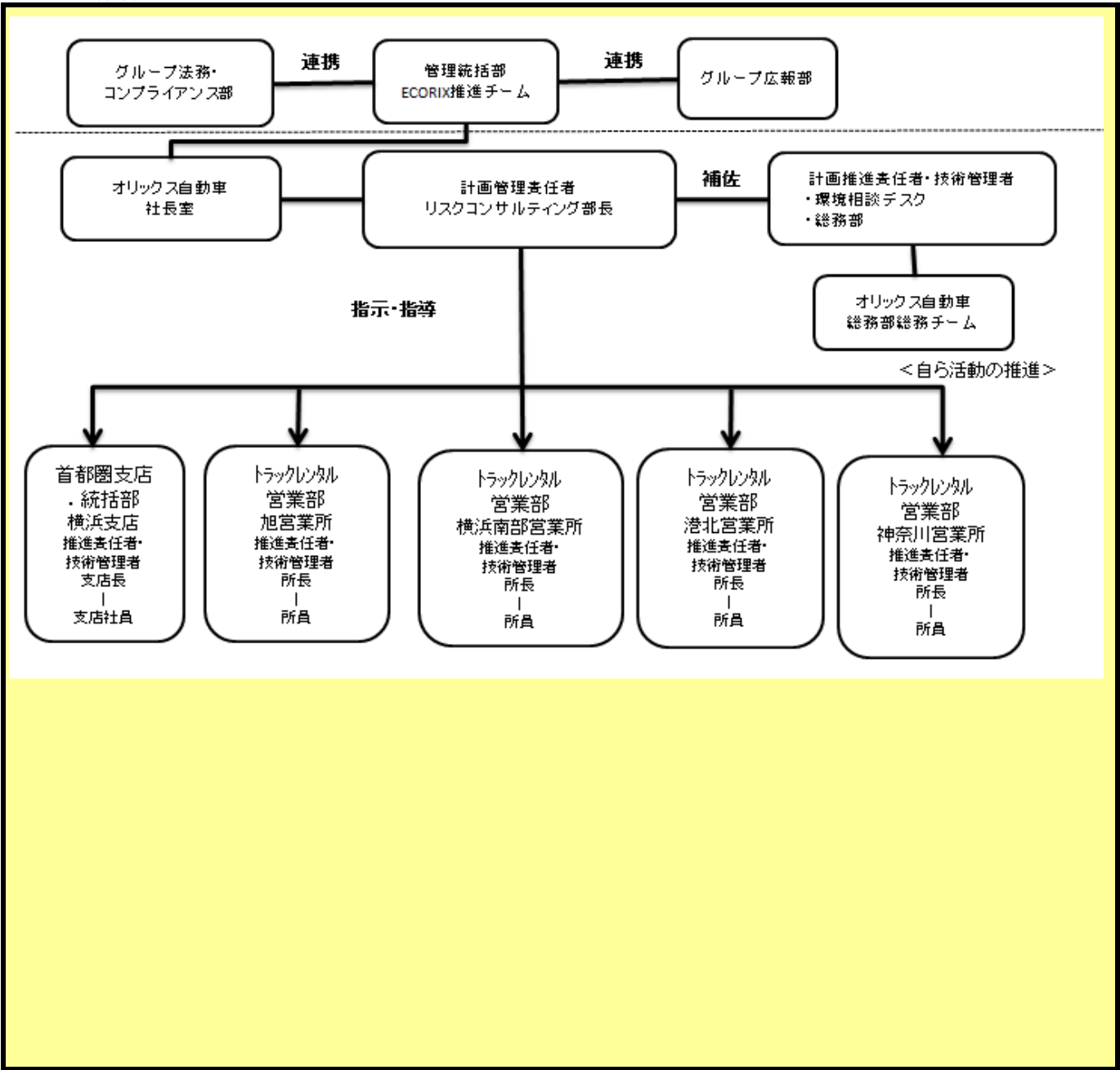
平成25年度～	平成27年度
---------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

○オリックスグループでは2012年9月にグループの環境方針を以下のように改訂し公表しました。
【環境方針】2012/9/25改訂
オリックスグループはお客様や社会のニーズを捉えビジネスを通じて環境・エネルギー問題の解決に貢献します。
また、事業領域の拡大・成長による変化を踏まえ、これに適った対応を進めます。

○これを受けて弊社でもe-テレマを活用したエコドライブを全社的に展開するとともに低燃費車、電気自動車などCO2排出量の少ない車両を積極的に導入して参ります。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	http://www.orix-eco.jp/environment/data.htm
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂					t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
その他ガス削減目標、事業者全体としての目標等									

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （平成24年度）	基準排出量	3,469	t-CO ₂			基準原単位	0.33	t-CO ₂ /	千km
	調整後	3,469	t-CO ₂				0.30	t-CO ₂ /	千km
目標年度 （平成27年度）	目標排出量	3,434	t-CO ₂	削減率	1.0 %	目標原単位	削減率	10.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	- 稼働中の車両は98.2%がレンタカーであり、レンタカー事業活動の拡大に伴い平成24年度末台数は基準年度である平成24年末比で110%を見込んでいる。 - 低燃費車両を積極的に導入することで「走行距離当たりCO₂排出量」を10%削減することを原単位での目標としたい。 - 台数増と走行距離あたりの排出量削減の両要素を組み合わせることで排出総量での目標値は基準年度比99%（削減率1%）と設定する。								
その他ガス削減目標、事業者全体としての目標等									

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度	
	事業所等の数 (所)	排出量の合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上		
1,500k l 以上 3,000k l 未満		
500k l 以上 1,500k l 未満		
500k l 未満		
合計	0	0

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度	
	台数 (台)	排出量の合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	261	1,220
小型貨物自動車	362	1,404
大型バス	0	0
マイクロバス	0	0
乗用自動車	215	436
合計	838	3,060
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)	27.7	%

9 重点対策の実施状況

重点対策			基準年度	計画期間	備考
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討			
	3	機器管理台帳の整備			
	4	照明設備の運用管理			
	5	エネルギー使用量の把握			
	6	各種図面の整備			
	7	外気導入量の適正管理			
	8	フィルター等の清掃			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理			
	11	室内温度の適正管理			
	12	地下駐車場の換気管理			
	13	照明設備の高効率化			
	14	事務所機器の待機電力管理			
	15	機器性能管理			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理			
	17	燃焼設備の空気比管理			
	18	排出ガス温度の管理			
	19	蒸気配管のバルブ等の保温			
	20	工業炉表面の断熱強化			
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化			
	22	コンプレッサの吸気管理			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	実施中	計画化	社内体制、責任者をさらに明確化 実施期限：平成27年度
	24	自動車の適正な使用管理	実施済		対象：社用車5台
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	実施済		対象：社用車5台
	26	エコドライブ推進体制の整備	実施中	計画化	マニュアル、エコドライブ推進者体制の整備 実施期限：平成27年度
	27	自動車の適正な維持管理	実施中	計画化	日常点検のマニュアルの整備 実施期限：平成27年度

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1				
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種 類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2					
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	

13 計画等に対する自己評価

○レンタカー事業については今後も事業規模の拡大を目指しているため、CO₂の総排出量の削減と相反する要素があるものの、電気自動車、ハイブリッド車などの低排出ガス車の導入を積極的に推進していくことでCO₂削減に努めていきたい。 ○社有車(営業用車両)については、前回計画策定時の17台から5台へ大幅に削減を実行した。 カーシェアリング車両の併用によって稼働台数そのものの削減を引き続き図っていく。 またテレマティクスサービスから得られたデータを元にエコドライブ推進活動を実効あるものにしていく。

地球温暖化対策計画書

1 事業所等の概要

事業所等の名称						
事業所等の所在地						
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積		m ²	原油換算エネルギー使用量		k l
	事業所等の区分			所有形態		
	エネルギー管理権原			使用形態		

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

--

3 推進体制

--

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
		削減率	%		削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方							